

チームでつくる

元気な医院

⑧



デンタルタイアップ
代表

小原 啓子

院長の覚悟を「理念」として公開することで、歯科医院の変革が本格的に始まると、組織はビリッとします。

毎日の朝礼がその変化を著明に物語ります。自分たちの服装の乱れがないかを確認し合い、朝礼が始ま

り、理念の唱和、朝のあいさつ、そして院長の言葉をいただく、この流れはチームが作ります。

「よろしくお願ひします」

大きな声が診療室に響き渡り、朝一番で予約されている患者さんが入って来られる。

この瞬間が、歯科医院がたしかに変わったと思える時間です。

「先生、いい理念をお持ちですね。皆さんがしっかりとされている心強いです」

患者さんからお褒めの言葉をいただく、診療室のみんなの顔には誇りがみなぎります。

「私たちは、高い志である理念を持っている」。その気持ちがあるとチームは

一丸にまとまっています。

さて、年末を迎えると、来年の準備が必要で

戦略会議を開き、時間をかけて来年のことをとことん話し合います。「今年は何が行えたのか」、「計画通りに何をどの程度できたのか」。事業を、全員で点数化

し、歯科医院として行ってきた仕事の評価をします。そして、「来年行うべきこ

と」を徹底的に話し合います。システムやプロセスが完全に見えるようにして、担当者を決めていきます。

その決定したことを、「来年のやるべきこと」として、みんなですべて取り組んでいくのです。やるべきことは小さな改善の繰り返しかもしれません。しかし、組織の成長は、情報の共有にあるのです。

そして、今度は個人として考えます。それが自分のできるのか、「スタッフとして何ができるのか」、それを、

組織と人生の戦略

を、年末年始でまとめます。

歯科医院での年頭のあいさつ時には、各自がこの一年、人生をどのように歩むのかを発表し合います。

年末、その準備をすることで、来年もきつといい年になります。目標があるからこそ、人生は輝いてくるのです。

（月一回掲載）